

第4回小布施町立保育所等整備検討委員会議事録

[出席者]

わかば保育園保護者会長 月岡氏

認定こども園栗ガ丘幼稚園保護者会長 川上氏

前中条自治会長 竹内氏

前松村自治会長 久保田氏

前雁田自治会長 呉羽氏

小布施町デザイン委員会委員 新氏

民生児童委員会会長 土屋氏

一般社団法人信州子育てみらいネット代表理事 山岸氏

小布施学園コミュニティ・スクール運営委員会会長 原氏

[事務局]

町長 大宮

教育長 山崎

子ども課課長 益満

子ども課子ども家庭支援係 関口、岡田、武井

つすみ保育園長 市川

わかば保育園長 佐藤

栗ガ丘幼稚園園長 中西

1. 開会
2. 挨拶 大宮町長より
3. 協議事項
 - 1) 新氏より挨拶
 - 2) 小布施町の方針を提示

(第4回小布施町保育所等整備検討委員会資料による)

前回ワークショップのまとめ

→特に意見等なし。

- ① ～④の園舎建設案の説明

・工事中の代替駐車場や、園児の居住環境などに配慮しているのか。現在の園児のことも考えてほしい。(委員)

→建設案の中では、想定していない。園児のことも考慮していく。(事務局)

・埋蔵文化財の調査期間は工期に含まれているか。(委員)

→現状含んでいない。(事務局)

・民間活力の活用は4案と絡めて説明してほしい。(委員)

→今後の意見交換で詰めていきたい。また、一方の残された園の活用方法も今後議論していきたい。(事務局)

・現地に建設でない場合の想定はあるのか(委員)

→検討したうえで候補地はない。現時点では現地建替えて検討を進める。(事務局)

・起債（公共施設等適正管理推進事業）について、詳しく説明してください。(委員)

→公共施設の集約化・複合化のみが対象。集約化事業とは、既存の同種の公共施設を統合し一体の施設として整備する事業。建築物の延床面積が減少する事業が対象。充当率 90% 交付税算入率 50%。令和 8 年度までに工事契約が条件となっている。(事務局)

・定員または、床面積によって起債の制限があるのか。(委員)

→町に有利な起債を活用するためには、床面積 1700 m²とし、園児 1 人当たりの床面積 10 m²とした場合人数 170 人となる。

(事務局)

・各保育園現地建替えの場合は、両園を同時進行で建設するのか。(委員)

→まずは、つすみ保育園の建て替えを優先に考えている。(事務局)

・第 4 回町立保育所等整備検討委員会での議題に至った経緯として、200 人規模の統合園とし、公共で保育を全て担っていくことが望ましいと考えていた。

しかし、200 人規模だと起債の対象とならない上に、財政的な負担が大きい。

このため最大 170 人規模としてはどうかと考えている。また町の方針案として、2 園の内 1 園は民間での運営を視野に入れていきたい。(事務局)

・お金の面だけでなく、町としての「こうしたい」があつての民間活力の利用が望ましい。(委員)

グループワーク

「小布施町の方針案について意見をいただきたい」

A グループ

- ・ 市内のいろいろな民間活力の事例がある。特色ある園としたい。
- ・ 保育士の給与が下がる不安がある。
- ・ 民間の園児数と町の園児数で調整も可能ではないか。
- ・ 場所として2つ園があった方がいい。交通混雑の解消や、園の選択肢を増やすというメリットがある。
- ・ 民間活力の導入は民間と町の間で多様な連携がとれる。
- ・ 年齢にあわせた場所を用意や年齢の比率の調整が必要。

B グループ

- ・ 民間活力は英語の教育など特色ある保育の展開が期待できる。
- ・ だれでも通園制度、病児保育など今足りない部分を提供できる施設。
- ・ 定員については、多くても少なくとも一長一短あるので議論が必要
- ・ 先生対園児は、24対4より12対2の方が目が届く。

C グループ

- ・ 定員は100人程度が運営しやすい。
- ・ 3歳まで民間運営の園に預けるなど、分担する。
- ・ 老人福祉施設の交流を考えるとわかば保育園敷地はポテンシャルが高いと感じる。

4. 次回検討委員会

第5回検討委員会

2/28（月）19:00～20:30 小布施町役場講堂

第6回委員会

4月予定

第7回委員会

5月予定

閉会